



TOPICS

- ・激動の令和2年度～秋季リーグ戦を終えて～
- ・後期チャレンジトーナメント優勝!
- ・新チーム始動!
- ・野球部コロナ対策川柳大会
- ・オンライン授業って実際どうなの??
- ・関大前のお店紹介
- ・編集後記



KANSAI UNIV. BASEBALL TEAM

激動の令和2年度 ～秋季リーグ戦を終えて～

＜第3節＞対同志社大学
05-3、07-3

1回戦で決勝打を放った
吉川(経4・土佐)

＜第4節＞対立命館大学
●1-5、05-2

2回戦で3打点の活躍を見せた
久保田有(総情3・福岡大大濠)

＜第2節＞対京都大学
07-4、010-1

リーグ戦初登板初勝利を飾った
宮崎(人間2・東海大仰星)

初試みもあ
りました!
継を行うなど
でのライブ中
たが、ウェブ上
りませんでし
上がりではあ
のような盛り
がでず、例年
ドからの応援
物であるスタン
となり、関大名
無観客試合
ができました。
も出ることな
く終えること
も出ることな
1人の感染者
行い、6大学で
どを徹底して
検温や消毒な
防止対策では
りました。感染
な結果に終わ
位という残念
い、6勝4敗3
は10試合を戦
れました。関大
勝率制で行わ
点制ではなく
グ戦は、勝ち
より、秋季リ
イルスの影響に
新型コロナウイルス

ベストナイン受賞!

- 捕手 久保田 拓真(社3・津田学園)
(2季連続2度目)
- 三塁手 久保田 有哉
(初受賞)
- 遊撃手 野口 智哉
(2季連続2度目)

＜第7節＞対関西学院大学
●0-2、02-0

2回戦で無四球完封勝利の
定本(文2・三重)

＜第6節＞対近畿大学
●7-9(11回タイブレーク)、●1-5

勝負強さが光った
野口(人間3・鳴門渦潮)

～前主将 吉川周佑が振り返る～ 激動の1年

今年はいレギュラーな日程で戸惑いもあり、チーム作りやモチベーション維持に苦労しました。活動ができない期間もあり、体調管理などは、それぞれに任せていました。その中で自分を見つめ直す時間も増え、成長することができたと思います。夏季オープン戦で結果が出ず悩んだ時もありましたが、学年関係なく多くのメンバーがチームのことを考えてくれてとても助かりました。3位という結果で終わりましたが、ベンチを良い雰囲気盛り上げ、スタンドでは応援したくてもできない中、きちんとした態度で観てくれたみんなのおかげで、関大らしい試合ができました。みんな本当にありがとう。



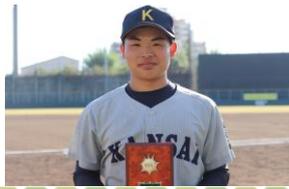
後期チャレンジトーナメント優勝！

1・2年生を中心に行われるチャレンジリーグ。前期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら中止となりました。そして待ちに待った後期では、11月1日からトーナメント制で開幕しました。ノーシードの関大は勝利を重ね、見事優勝を果たしました。そこで今回、チームに大きく貢献した4人の選手に注目し、インタビューを行いました！

最優秀選手に選出していただき、とても光栄に思います。またコロナ禍の中開催していただき、ありがとうございました。今大会では、主将の内田さんをはじめ、2年生の方々がチームをまとめ、そして引っ張っていただきました。そのため、1年生がのびのびとプレーすることができ、全員の力で優勝できたと思います。

最優秀選手賞に輝いた

中井 颯良(政策1・報徳学園)



1回戦 対関西学院大学 04-0

両者無得点のまま迎えた4回、中井颯のソロ本塁打で先制。6回には敵失で2点、続く7回には柳本(人間1・大阪桐蔭)の適時打で追加点を挙げ、関学を突き放す！

投げては、鷲尾(経2・登美ヶ丘)、古西(文1・社)が計15奪三振の好投で見事な完封リレーを見せ、関学打線を3安打に抑えました！

準決勝 対近畿大学 04-3

関大は2回、黒岩(法1・崇徳)の適時二塁打で2点を先制。さらに8回には有馬(商1・近江)、今大会主将の内田峻が適時打を放ち、2点を追加。

その後1点差に迫られるも、リードを守り切り、決勝へ進出！

投げては、先発の若林(経2・市立西宮)が6回3安打の安定した投球でチームに流れを引き寄せ、勝利へと導きました！

今大会は主将という立場で出場させていただきました。選手としてのスキルはもちろん、主将としてのスキルもまだまだな状況で試合に挑むことにとっても不安がありました。しかし、頼もしいチームメイトであり、ライバルでもある仲間に支えてもらい、チャレンジトーナメント優勝という最高の結果になったと思います。この大会を糧に、自分自身やチームメイトが1人でも多く来季のリーグ戦に出場して、リーグ優勝に貢献できるように日々精進していきたいと思います。

主将を務めた

内田 峻太(政策2・大手前高松)



ベンチの盛り上げ役にも注目☆

チームには欠かせない、ベンチ内の雰囲気をつくる役目。

今大会で特に貢献した2人を紹介します！

濱崎 大海(経2・郡山)

結果を出すことが全てではなく、自分の立場を理解して行動することでも、チームに貢献できることが分かりました。

鈴嶋 進也(経2・近江兄弟社)

各立場・持ち場での貢献というものを改めて実感しました。チームに対して、色々な貢献の仕方があることを学びました。

決勝 対立命館大学 03-2(延長10回)

2回、石原水(総情2・栄徳)、軽部(法1・東播磨)の適時打で2点を先制。その後同点に追いつかれ、迎えた延長10回。中井颯が決勝点となるソロ本塁打を放ち、勝ち越しに成功！

投げては、初先発ながらも落ち着いた投球で1点に抑えた茶谷(経1・西宮東)、4回被安打1の好投を見せた鷲尾、147キロの速球で相手を圧倒した若林、同点とされるも粘り強い投球をした古西の4投手の継投で、2年ぶりの優勝を掴み取りました！

新チーム始動！



左から川上、坂之下、川崎、久保田拓、藤木、森下

川上 翔大

秋季リーグ戦は残念ながら無観客試合となりましたが、ライブ中継等での温かいご声援ありがとうございました。3年生は下級生の時から出場していた選手も多く、人一倍悲喜を経験しています。その経験が、日々の練習に打ち込む姿勢に表れていると思います。そんなメンバーと日本一になれるように誰からも応援されるチームを目指します。



☆新幹部

主 務	川上 翔大(経 3・三田学園)
主 将	坂之下晴人(人間 3・大阪桐蔭)
副 将	川崎 圭汰(法 3・関大北陽)
副 将	久保田拓真(社 3・津田学園)
学生コーチ	藤木 優成(政策 3・福知山成美)
学生コーチ	森下 翔太(政策 3・大社)



坂之下 晴人

今年のチームで日本一を目指して、日々取り組んでいきます。そのために、チーム全体で日本一という思いを今までよりも強く持ち、野球も野球以外の面でも関大野球部は強いと言われるチームを作ります。1年後、このチームで日本一になり、笑って終わられるよう、この1年間必死にやります。応援よろしくお願いします。

川崎 圭汰

今年の新チームは日本一という目標を掲げスタートしました。日本一のチームになるためには部員全員が同じ方向を向いて一丸とならなければいけないと思います。そのため、副将として1年間チームが一丸となれるよう引っ張っていきます。部員全員で目標達成に向けて頑張りますので応援よろしくお願いします。



久保田 拓真

今年こそは日本一になれるチームをつくり、必ず達成します。そのために今何が必要なのか、何が足りないのかを考え、私たち幹部が率先して行動していきたいと思います。来年の秋、神宮の地で最後の最後まで戦い、チームメイト全員で笑って終わられるよう、今からの1年頑張りますので応援よろしくお願いします。

藤木 優成

今年のチームは個々の能力が高く、個性豊かなメンバーが揃っています。そのチームをどれだけ良いチームにできるかは私たち幹部の役目なので、今年1年が終わってこのチームで良かったとみんなが思えるチームづくりをしていきたいと思っています。そして今年こそ目標である日本一を掴むため、幹部全員で力を合わせてチームを引っ張っていききたいと思います。



森下 翔太

このチームで日本一という目標を必ず成し遂げます。そのために、選手が野球に真剣に打ち込める環境をつくり、選手の一番近くでサポートしていきます。この1年、チームのために何ができるのかを常に考え、関大野球部に関わる全ての人が誇れるチームにできるよう日々取り組んでいきます。

意外な！ 新たな！ 一面を発見！！

～野球部コロナ対策川柳大会～

逆境を
楽しみに変えて！

秋季リーグ戦開幕を目前にした8月。新型コロナウイルスがまだまだ猛威を振るう中、リーグ戦を戦い抜くため、そして絶対に関大野球部から感染者を出さないため意識を高めようと、マネージャー全員で発案したこの企画。「部員全員が参加できユーモア溢れる取り組みを！」と考えた結果、「新型コロナウイルス対策」を題材として川柳大会を開催することになりました！

部員209名全員が考えに考え抜いた渾身の一句を短冊に書いてもらい、部内で投票を行いました！どの句もユーモアたっぷりで、個性に溢れていました！



～受賞作品紹介～

<最優秀賞・監督賞>

<優秀賞>

<優秀賞>

<優秀賞>

<優秀賞>

消毒で
気付く努力
染みるマメ
大濱 颯



コロナでも
すること同じ
「今」に勝つ
石井 陸渡



ワンチーム
コロナも試合も
総力戦
内田 峻太



令和だが
零にはならぬ
感染者
能島 哲太



密密密
密密密密
密回避
廣井 康士朗



～最優秀賞・監督賞をW受賞した大濱 颯のコメント～

～この句に込めた想い～

自分が行ってきた努力は、試合などで結果として表れれば、成果として感じることができますが、このコロナ禍ではそれを感じる機会すらありませんでした。しかし、試合の結果の代わりとして、「コロナ対策」として行っている日々の消毒で、自分の努力を身に染みて実感するという、実体験を句にしました。

最優秀賞の大濱にはバット、優秀賞の4名にはそれぞれバッティング手袋が贈呈されました。

受賞式



大濱(経3・大阪学芸)



左から内田峻、石井(商3・郡山)、
廣井(商2・須磨友が丘)、能島(安全2・盈進)

今後の新しい企画にも
ご期待ください！！

オンライン授業って



実際どうなの??

選手に
聞いてみた!!

新型コロナウイルスが猛威を振るう 2020 年。関西大学では春学期授業が完全オンライン配信となりました。秋学期は、対面授業とオンライン授業を併用する形で授業を行っています。

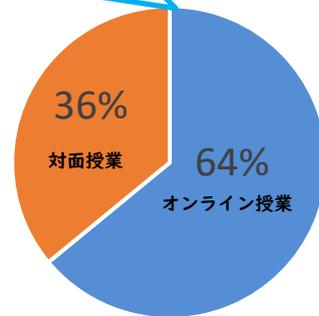
今までに経験したことのない状況下となり、世の中でも大学の授業体制に対して注目が集まる中、選手たちはオンライン授業に対してどのように感じているのか調査しました!

野球部員 1~3 年生 計 153 名を対象にアンケートを実施

Q 対面授業とオンライン授業どちらが良いですか?

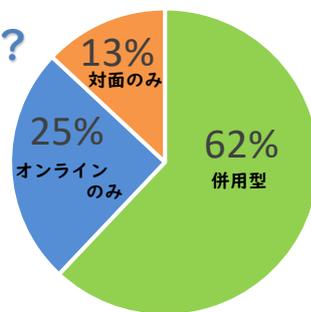
新型コロナウイルス感染が収束しない現在。一番多かった意見は、やはり「コロナに感染するリスクを避けたい」という意見。

対面授業が良い理由としては、「友達と授業を受講できる」「直接先生に質問できる」などコミュニケーション面での意見が多数見られました。一方オンライン授業が良い理由としては、「移動時間が省ける」「何度も見返すことができる」「都合の良い時に受講できる」など利便性を重視した意見が多数集まりました。



Q コロナが収束したとして、オンライン授業を継続したいですか?

オンライン授業の利点として多く挙げられていた利便性に加えて、先生や友人に会えるという対面授業の良さを融合した併用型を継続したいという声が半数以上を占めました。コロナ禍という初めて体験する状況下で、オンライン授業という新たな授業形態が、ニューノーマルとして受け入れられる日も近そうです!



関大前のお店紹介

今回紹介するのは、関大の正門を出てすぐのところにある CAPE COD(ケープコッド)です。オープン戦の日など関大野球部もいつもお世話になっている、エスニックな雰囲気の中で多国籍な料理が楽しめるお店です。

マネージャーのおすすめはオムライス! ボリュームーさと濃厚な味わいが人気です。

さらにデザートも充実しており、お店に入ると、ショーケースに並べられた何種類もの自家製ケーキが目飛び込んできます。

商品のテイクアウトも可能ですので、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか!

【住所】吹田市千里山東 1-10-4 【☎】06-6380-8890



編集後記

今回の奪首×Dash 第 39 号はいかがでしたか?

新型コロナウイルスとの共生が強いられた 2020 年。そんな状況下だからこそという発想の転換、そして苦難の中で挑戦し続け、チャレンジーナメントでは優勝を掴んだ関大野球部。来シーズンこそは、素晴らしい応援のもとでプレーできることを願い、1 日 1 日を大切に練習に励んでまいります!

今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします!



左から佐野 巧(安全 2・静岡北)

沼本 音々(人間 2・明石城西)